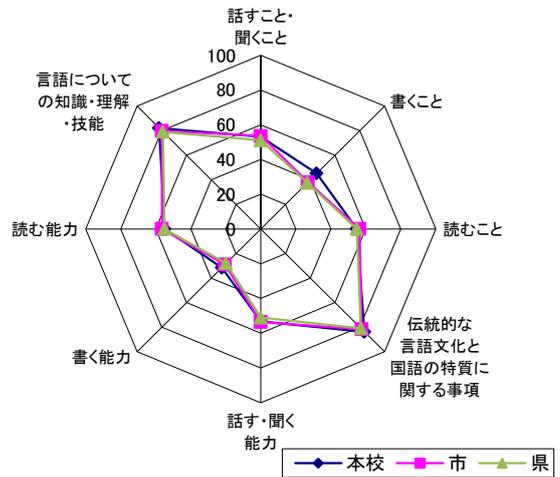


宇都宮市立横川西小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	53.2	53.6	51.0
	書くこと	45.3	38.1	37.6
	読むこと	54.9	56.4	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	83.8	81.6	80.9
観点	話す・聞く能力	53.2	53.6	51.0
	書く能力	31.4	29.0	28.0
	読む能力	54.9	56.4	55.0
	言語についての知識・理解・技能	82.2	79.9	79.1



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「話し方の工夫に気を付けて聞くこと」は正答率72.6%で市平均を3.5ポイント上回った。 ●「互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くこと」は正答率50.5%で市平均を3.7ポイント下回った。 ●「発表するために調べたことの要点をまとめること」は正答率72.6%で市平均を5.7ポイント下回った。	・聞くことは、今後も発表者の意図に気を付けながら聞くことができるように支援するとともに、互いの考えを比べながら整理して聞くことができるように指導していきたい。 ・話すことは、伝えたいことを整理させ、聞き手に分かりやすい工夫を考え実践できるように、他教科とも関連付けて指導していきたい。
書くこと	○「与えられたテーマに対する記事を条件に合わせて書くこと」は正答率45.3%で市平均を7.2ポイント上回った。	・記述に関する個人差が大きいため、「理由」・「例示」・「結論」など、論点を段落ごとに分けることを意識させたり、模範文を視写したりすることを繰り返し指導することで習熟を図りたい。
読むこと	○「目的や必要に応じて、段落相互の関係をとらえること」は正答率80%で市平均を10.9ポイント上回った。 ●「目的や必要に応じて、中心となる語や文をとらえること」、「叙述を基に、場面の様子を読むこと」は正答率が市平均を5ポイント以上下回った。	・説明文では、段落相互の関係に気を付けながら、言葉や文を正確に読み取れるように、叙述に即して具体的に指導していきたい。 ・物語文でも、叙述に即して心情や情景が想像できるように、文章に戻って具体的に指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○言語の学習「読点の打ち方を理解している」は正答率94.7%で市平均を5.4ポイント上回った。	・漢字の読み、書きは市平均と同様の正答率であったが、履修学年に関わりなく、日常の使用頻度で習得に差が出るので、定期的に繰り返し練習させ、習熟を図ってほしい。 ・言語事項については、授業の中で意図的に補説し、他教科とも関連付けながら理解できるように工夫したい。